年間授業計画

上水 高等学校 令和7年度

教科 芸術

科目 書道 I

教科: 芸術

科目: 書道 I

単位数: 2 単位

対象学年組: 第 1 年次 A 組～ F 組

使用教科書: (書道 I)

教科 芸術

の目標: 芸術の特質について理解し、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【知識及び技能】 書写技能の向上とともに作品を効果的に表現する基礎的な技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 芸術的な能力を伸ばし美に対する感性を高め、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かな表現を工夫する。

【学びに向かう力、人間性等】 芸術を生涯にわたって愛好する心情を育て、豊かな情操を養う。

科目 書道 I

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け、表している。	書の良さや美しさを感じ、意図に基づいて構想し、表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書之美を味わい捉えたりしている。	主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			漢 仮	漢 字	仮 名					
一 学 期	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な姿勢、執筆法を身に付ける。 用具、用材を的確に用いる 国語科書写と芸術科書道の違いを理解する。 漢字の書の成立と変遷について理解を深める。 臨書について理解し、表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> 文房四宝 執筆法 準備、片付けについて 漢字の変遷、書体について 書風について 臨書とは 	○	○		<p>【知識及び技能】 用具用材の特徴と表現方法との関わりについて理解している。目的や用途に即した効果的な表現の技能を身に付けている。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 目的や用途に即した効果的な表現形式、意図に基づいた表現について構想し工夫している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	10
	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の書「楷書」臨書 ①九成宮醴泉銘 ②孔子廟堂碑 ③雁塔聖教序 ④自書告身 ⑤牛欄造像記 楷書創作 	<ul style="list-style-type: none"> 書風の異なる作品について用筆、運筆との関わりについて 創作手順、書道字典の使い方。古典を意識した創作について。 	○	○		<p>【知識及び技能】 楷書の古典の書風に即した用筆、運筆との関わりについて理解している。また楷書の古典の線質、字形を生かした表現の技能を身に付けている。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 楷書の古典の書風に即した用筆、運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫している。また古典の価値とその根拠について考え、漢字の書の良さや美しさを味わって捉えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自身の表現の意図に基づく表現、楷書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	22
二 学 期	<ul style="list-style-type: none"> 隷書の学習「曹全碑」臨書 行書の学習「蘭亭序」全臨 仮名の書「いろは歌」「連綿」「散らし書きの創作」 	<ul style="list-style-type: none"> 隷書の基本的な用筆、運筆について。字形の特徴を生かした表現について 小筆の使い方。行書の基本的な用筆、運筆について。古典の価値やその根拠について 仮名の技法を習得し、日本独自の伝統について理解を深める。仮名における用具用材の違いを学びながら自分らしい表現で創作する。 	○	○	○	<p>【知識及び技能】 隷書・行書・仮名の基本的な用筆、運筆の表現、古典の線質、字形や構成を生かした表現の技能を身に付けている。日本の文字と書の伝統と文化、仮名の成立について理解している。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 隷書・行書・仮名それぞれの書風に即した用筆、運筆、字形全体の構成について構想し、工夫している。書の良さや美しさを味わって捉えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自身の表現の意図に基づく表現、隷書・行書・仮名の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。古典の作品の良さや美しさを感じ、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	26

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			漢 仮	漢 字	仮 名						
三 学 期	漢字仮名交じり書	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字と仮名の調和について ・文字の大きさ ・全体の構成 ・表現に基づく書風 ・作品鑑賞会 	○	○	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身に付けている。 ・目的や用途に即した効果的な表現の技能を身に付けている。 <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成について構想し工夫している。 ・目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現について構想し工夫している。 ・名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に漢字仮名交じり書の大作の創作に取り組もうとしている。 ・主体的に漢字仮名交じり書の幅広い表現の学習活動、作品鑑賞に取り組もうとしている。 	○	○	○	20	
											合 計